

市町村別脳血管疾患の標準化死亡比 (H10 - 14)

H10 - 14年 SMR	脳血管疾患			脳出血			脳梗塞		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
宇和島市	132.2	119.1	123.1	102.1	109.3	104	145.7	128.7	133.7
吉田町	98.7	123.5	111.8	62.9	103.6	82.5	115.2	139.1	127.7
三間町	103.6	92.1	97.9	125.6	163.7	143.7	90.8	77.9	84.8
広見町	63.3	66	64.8	74.2	42.7	58.6	51	72.6	62.5
日吉村	94.8	89.5	91.2	44.4	42.1	43	109.9	98.2	102.4
松野町	111	131.1	122.1	77.5	102.1	89.5	124.7	139	132.9
津島町	124.2	90.1	104.6	115.7	92.4	103.4	108.3	77	90.1
内海村	141.4	82.3	106.6	149.5	92.2	117.9	158.8	98.3	123
御荘町	136.1	115.9	123	92.8	92.8	76.6	149.8	131.8	137.2
城辺町	138	121.8	127.6	74.1	88.2	80.1	182.5	135.2	154.3
一本松町	81.8	69.6	73.9	141.5	27.2	82.4	50.9	73.7	62.8
西海町	70.5	96.2	82.9	61	101.5	79.5	85.8	97.5	90.5
宇・吉・三・津	122.8	113.3	116.3	100	110.4	104	129.4	118.5	121.9
広見・日吉	68.2	70	69.1	69.5	42.6	56	60	77.1	69.1
南宇和郡	120	105.6	110.8	94	72.9	82.5	137	117.4	124.2
愛媛県	99.4	97.3	97.9	92.8	95.3	93.4	104.3	99.8	101.6

*全国：100 健康増進センター調べ

標準化死亡比とは、年齢構成が著しく異なる人口集団の間での死亡率や特定の年齢層に偏る死因別死亡率などについて、その年齢構成の差を取り除いて比較する場合に用い、全国を100とした比で表します。

黒く塗ってある100以上の数字は、全国と比較して脳卒中の死亡が多いということです。小さい数値ほど死亡が少ないということです。鬼北町はとても少ないですね。

鬼北町がなぜ脳卒中で死亡する人が少ないのか？

その背景として、人口規模や保健師数がほぼ同じである吉田町（脳卒中で死亡する人が、全国・県よりも多い）と平成14年度の保健事業量を比較してみました。

まず、集団に対する健康教育をみると、吉田町が32回で参加人数は342人、旧広見町では111回で参加人数は2,121人であり、参加人数は約6倍の開きがありました。

次に健康相談をみると、吉田町は125回開催の2,248人参加、旧広見町は173回開催で7,341人参加となっており、参加人数は約3倍の開きがありました。また、保健師一人あたりの相談人数も管内で一番多く2番目が日吉村でした。

このような長年のきめ細かな保健活動と、住民の健康意識の高さが現在の結果に現れたと思います。単年では目に見えないことも、長期的にみるとハッキリした成果がでています。今後も、より充実した保健活動を推し進めていくことが大切であると気を引き締めているところです。

脳卒中をおこさない、また、脳卒中になっても重症にならないことが医療費の軽減にもつながり、健康長寿の町づくりにもつながるのです。